

(常磐地区まちづくり検討会)
令和3年度
第2回ワーキンググループ会議
(HuLabo③：情緒ある温泉街づくりWG)



1	前回の振り返り	．．．．．	P 1 ～ 2
2	今後の進め方	．．．．．	P 3
3	WGメンバーからの意見	．．．．．	P 4 ～ 8
4	意見交換	．．．．．	P 9 ～ 10

日時：令和3年11月26日（金）19時10分～
場所：常磐公民館 2階 第1会議室





Ⅰ 前回の振り返り（第Ⅰ回合同WG会議にて）



(Ⅰ) HuLabo③（情緒ある温泉街づくり検討WG）について

● ミッション（Mission）：温泉街の今後を考える

方針4 「温泉街の滞留拠点形成」

方針5 「歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備」

方針に掲げる取組みの実現に向け、
「何を・誰が・どこで」取り組むのか考える

チームとして楽しく前向きな検討を進めていきましょう。



1 前回の振り返り（第1回合同WG会議にて）



(2) 情緒ある温泉街づくりに向けた事務局からの提案

● 提案 (suggest)

① 温泉神社と一体的・連携した「いわき湯本温泉を代表するような滞留空間」を形成する。

② 温泉街で“いわき湯本温泉郷”を感じられる情緒ある雰囲気をつくる。

【手法】 ・ 沿道の景観形成 ・ 電線類の地中化
・ 路面の整備 ・ 夜間景観づくり など



2 今後の進め方



(1) 今後の進め方について（イメージ）

第1回ワーキンググループ会議（R3.10.6）

- HuLaboの目的共有
- 取り組み（案）の説明・共有
- 検討のポイントの説明・共有



第2回ワーキンググループ会議（R3.11.26）

- WGメンバーからの意見の共有
- 滞留拠点のコンセプトや形成に必要な取り組み（実現までのステップ）は何か？
- 温泉街の景観形成づくりに必要な取り組み（実施までのステップ）は何か？



第3回ワーキンググループ会議（R4.1月下旬）

- 第2回目の議論を踏まえつつ、さらに取り組みの内容を深掘りする。



第4回ワーキンググループ会議（R4.3月中旬）

- 「HuLabo③情緒ある温泉街づくりWG」として考えた取り組みを整理する。
取り組み… 取組内容・役割分担・実施スケジュールなど

※ 現時点での予定であり、検討状況により会議回数や開催時期は変更となります。



3 WGメンバーからの主な意見（情報共有）



Q. 滞留拠点に必要な機能のアイデアについて

- 足湯の脇に滝のようなものがある、流れがあるようなイメージのもの（湯けむりが上り、情緒がある）
- 塩原温泉「湯っ歩の里」（足湯（日本最大級）のほか、温泉の池や滝、飲泉など）
- 宮城県金蛇水神社の「参道テラス」（参道～庭園～広場～山～神社）
（参拝者休憩所、土産処、食事処、カフェテラスなど）
- 温泉が溢れ出て、常に虹が出ている滝（例：ハワイ滝） ・ 温泉神社や童謡館、鶴の足湯との一体的な空間
- 温泉モニュメントや足湯、テナント機能 ・ 屋根付きの『和モダンな足湯テラス』
- ティキ神のオブジェがある足湯
- トイレ ・ 大型車も駐車できる駐車場
- パイナップル型の足湯
- 飲食店
（近隣店舗と重複しない、軽食を中心した温泉を利用したもの）
- セブ神の名前を付けた足湯
（現在あるものを活かし、残り4箇所整備）
- 射的場、卓球場、土産物店（温泉地にありそうなもの）
- イベントも可能な空間
- 浴衣レンタル施設
（観光客はそのまま宿に泊まれる。旅館毎に浴衣を用意する必要がなくなる。）
- 神社の景観を活かしながら、もみじ等を植栽した庭園
（紅葉スポット）
- 民謡などのBGM
- 憩いの空間を提供でき、非日常体験を行える場所
- 神社のライトアップに併せた照明
- 近隣の店舗からテイクアウトしたものが食べれる場所
- 非常用地下貯水槽（災害時の拠点）
- 伊香保温泉のような昔ながらの町
- 滞留拠点～跨線橋の整備（拡幅など）
- 周辺にバスベイ（停留所）



2 WGメンバーからの主な意見（情報共有）



Q. 歩きたくなる道路空間のデザインについて

- 石畳ではなく、カラー舗装
(維持管理が大変、UDの観点からも避けた方が)
- 石畳風の舗装 (車椅子利用者、キャリアケースを持って歩く際に不快にならないように)
- 和風な石畳
- ベンチなど滞在できる空間
- 透水性舗装、カラー舗装
- 路上にはみだして使える
- 道路にオリジナルのマンホール蓋
(隠れマーク：温泉、ハイビスカス、肉球、パイナップル)
- 行きたくなるようなPRも必要
- 歩行空間の確保が優先

Q. 重点的に実施すべき箇所はどこか？

- 表町通り
- 上町通り
- 中央通り
- 一番町通り
- 路地のような細い道も大切に
- ブロンズ通り (電線地中化)



2 WGメンバーからの主な意見（情報共有）



Q. まちの景観を形成するためには、道路だけでなく、沿道（建物や工作物）の取り組みも必要と考えています。実現のためのアイデアを聞かせて下さい。

- まち全体の景観を統一する。
(建物の色や形、看板や暖簾、照明など。長い時間をかけて取り組む。)
- ハワイアンテイストで景観づくりを統一する。
- 沿道の景観は和風な壁面等を設置し、統一したデザインにする。
- 温泉を使用する施設は、共通の雰囲気のあるものにする。
- まず、まちの現状を知り、課題から反省することから始める。
(例えば、いわきFCの旗がボロボロなのにそのままにしておく原因は何か?)
- 具体的にどのようにしていくか、話し合いを行う。
- 街灯や街路樹の整備 • 電線類の地中化
- 町内会などでの定期的な清掃 • 吸い殻やゴミ等の無い道路
- 雑草が生えていない道路



2 WGメンバーからの主な意見（情報共有）



Q. 駅前や温泉街には狭隘な道路も多く、景観や安全な歩行空間の形成に向け、電線類の地中化の検討を考えています。改善が必要な場所と理由を教えてください。

- 三函・吹谷線は、電柱があることで歩行者の安全が確保されている側面もあり、地中化をする道路は、歩行空間を確保することが必要。
- さはこの湯周辺道路（歩道と車道の区分を明確に。歩行者も多い）
- 三函・吹谷線（岩惣前のカーブ、美里～吹の湯のカーブは大型車が通行しにくい）
- 表町通り（沿道の景観を重点的に行う上で、歩行空間の確保や景観を向上させるため）
- 表町通りの改善（狭隘なため、普通車でもすれ違いができない）
- 駅前広場の整備が必要。
（交通量に対して、横断歩道や一時駐車スペースが煩雑な印象を受ける）
- ブロンズ通り（駅前～御幸山公園まで。いわき湯本温泉郷の顔である）
- 右折レーンやバスレーンの確保は必要。



2 WGメンバーからの主な意見（情報共有）



Q. 歩きたくなる沿道景観として、「あのまちの雰囲気よかったな、あの温泉街の夜景はよかったな」など印象に残っている場所を教えてください。

- 逗子 ・ 美保関 ・ 成田山表参道 ・ 石川県の山中温泉
- 金沢市「長町景観地区」 ・ 金沢「ひがし茶屋街」 ・ 愛媛県の道後温泉
- 兵庫県の城崎温泉 ・ 群馬県の四万温泉 ・ 伊香保温泉の「石段街」
- 広島県竹原市の「まちなみ保存区域」 ・ 山形県の銀山温泉
- 京都府の祇園町や先斗町 ・ 宮城県塩竈市の神社周り門前町
- 大分県豊後高田市の昭和の街並み ・ 福島県会津若松市の七日町通り
- 中野のサンモール商店街 ・ ハワイのノスタルジックな街並み
- 旅館やホテルの考え方も聞き、温泉郷のイメージを話し合っ
て作ることが大切。
- 草津の湯畑と大露天風呂へ向かう温泉宿や土産物屋の通り
- 場所はこだわらず、温泉とフラという統一のイメージを作り込んで、徐々に変えていくだけでも十分だと思う。
- 歩道が広く、お店のテラス席が出ているイメージ
- 街路灯などの光の演出にこだわる



4 意見交換



(1) 意見交換したい項目

情緒ある温泉街づくりのために…

滞留拠点のコンセプトや形成に必要な取り組み
(実施までのステップ) は何か？



4 意見交換



(1) 意見交換したい項目

情緒ある温泉街づくりのために…

温泉街の景観形成づくりに必要な取り組み
(実施までのステップ) は何か？



4 意見交換



(参考) 魅力ある景観づくりの取り組みイメージ

知る
学ぶ

- まちなか景観の状況把握
- まちなか資源の魅力発掘
- 専門家によるシンポジウムや勉強会開催 など

考える
話し合う

- ワークショップの開催 など

つくる

- 景観のルールをつくる
- 事業の企画・立案 など

行 う

- 取り組みの展開
- 取り組みの検証
- 取り組みの継続 など



WGメンバーからのイメージ（1）

別紙



塩原温泉「湯っ歩の里」（栃木県那須塩原市）



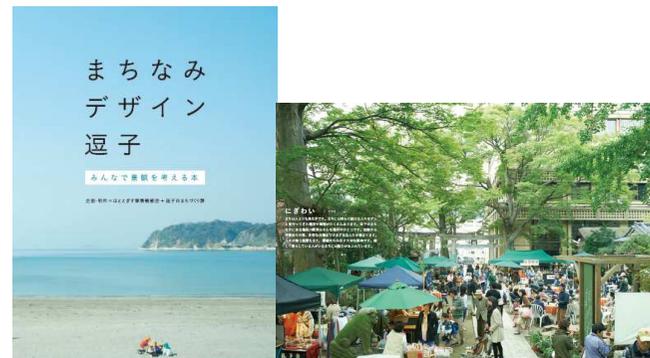
かなへびすい
宮城県金蛇水神社「参道テラス」（宮城県岩沼市）



「虹の滝」（ハワイ島）



「ティキ神」



「まちなみデザイン逗子」



WGメンバーからのイメージ（2）



みほのせき
「美保関」（島根県松江市）



「草津温泉」（群馬県吾妻郡草津町）



「成田山表参道」（千葉県成田市）



「ひがし茶屋街」（石川県金沢市）

WGメンバーからのイメージ (3)



「長町景観地区」 (石川県金沢市)



「道後温泉」 (愛媛県松山市)



「山中温泉」
(石川県加賀市)

きのさき
「城崎温泉」
(兵庫県豊岡市)



WGメンバーからのイメージ（4）



「四万温泉」
（群馬県吾妻郡中之条町）



「銀山温泉」
（山形県尾花沢市）



「門前町」
（宮城県塩竈市）



「まちなみ保存区域」
（広島県竹原市）



ぽんと
「祇園町・先斗町」（京都府京都市）

WGメンバーからのイメージ (5)



「昭和レトロな街並み」 (大分県豊後高田市)



「伊香保温泉」 (群馬県渋川市)



「七日町通り」 (福島県会津若松市)



「サンモール商店街」 (東京都中野区)



「ハワイのノスタルジックな街並み」 (イメージ)

方針4-① 温泉神社周辺の滞留拠点の形成

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

● 目的

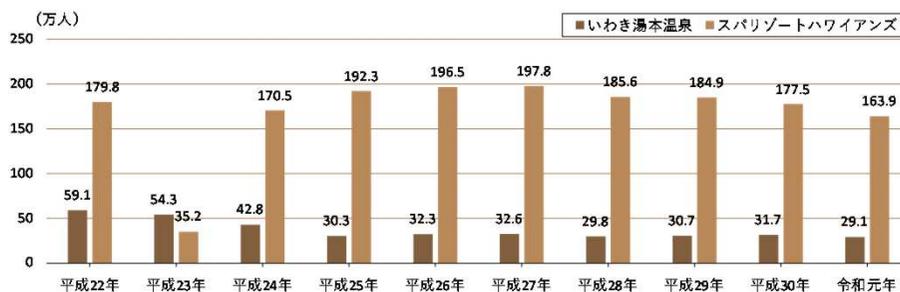
- 地域最大の資源である「温泉」を活かし、温泉街で憩い、交流できる滞留拠点を創出することで、温泉宿と「温泉神社」や「さはこの湯」、童謡館」などの既存の観光資源との間に人の流れをつくり、にぎわいや活力を生み出すことを目指す。

● 場所（候補地）

- 温泉神社に隣接する現常磐支所敷地
 ※ 公共施設再編後の跡地利活用を想定

● 効果

- 観光地としての魅力向上
- 観光交流人口の増加
- 温泉街の滞留時間の増加
- 回遊性の向上



グラフ 常磐地区の主な施設の観光入込客数の推移

（滞留拠点形成による温泉街の回遊性向上イメージ）

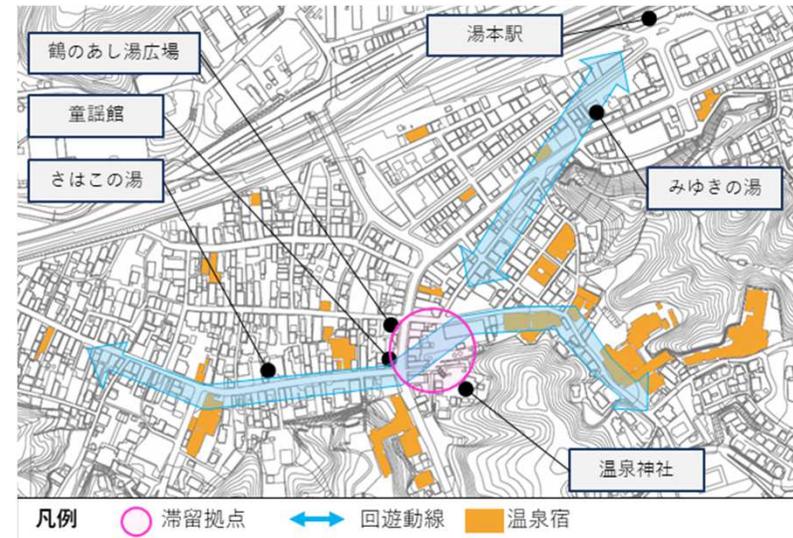


図 滞留拠点の候補地



写真 温泉神社と現常磐支所敷地



方針4-① 温泉神社周辺の滞留拠点の形成

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

• 取組みのイメージ

- 温泉を活かしたモニュメントや足湯を整備し、合わせて周囲に店舗等を配置
- 温泉神社と一体的に、時の流れや歴史を感じ、居心地がよく湯本温泉ならではの拠点を形成(いわき湯本温泉郷のシンボルとなるもの)

• 想定される主体

- 民：店舗等の整備、滞留拠点の運営
- 市：モニュメントや足湯の整備
- ※ 官民連携事業を想定

• 検討のポイント

- 「いわき湯本温泉郷」を体現する機能やデザインは、どのようなものか。



写真 滞留拠点の整備イメージ



方針5-①、③（①道路景観の整備 ③安全な歩行者空間づくり）

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

● 目的

- 観光地「いわき湯本温泉郷」として、安全で、かつ魅力を感じる道路空間をつくることで、住民にとって暮らしやすく、観光客にとっても魅力的な温泉街を目指す。

● 場所（候補地）

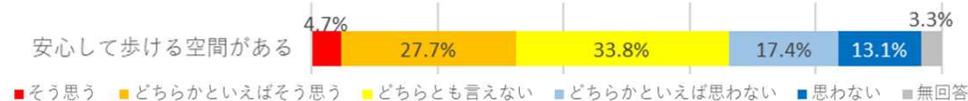
- 滞留拠点を中心とした、周辺の県道及び市道部

（方針①③：主要地方道いわき石川、常磐勿来、市道三函・吹谷
 方針①：市道三函6号、三函8号、吹谷2号

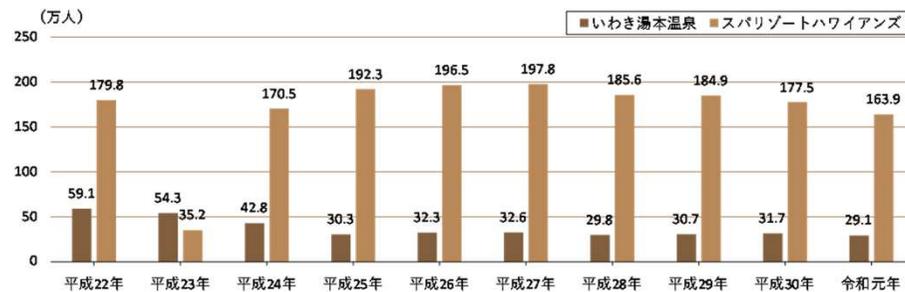
など

● 効果

- 回遊性の向上
- 観光客の増加
- 安全性の向上
- 地域活力の向上



グラフ 安心な歩行空間の印象（令和2年度住民アンケート結果）



グラフ 常磐地区の主な施設の観光入込客数の推移

（景観整備による温泉街の回遊性向上イメージ）

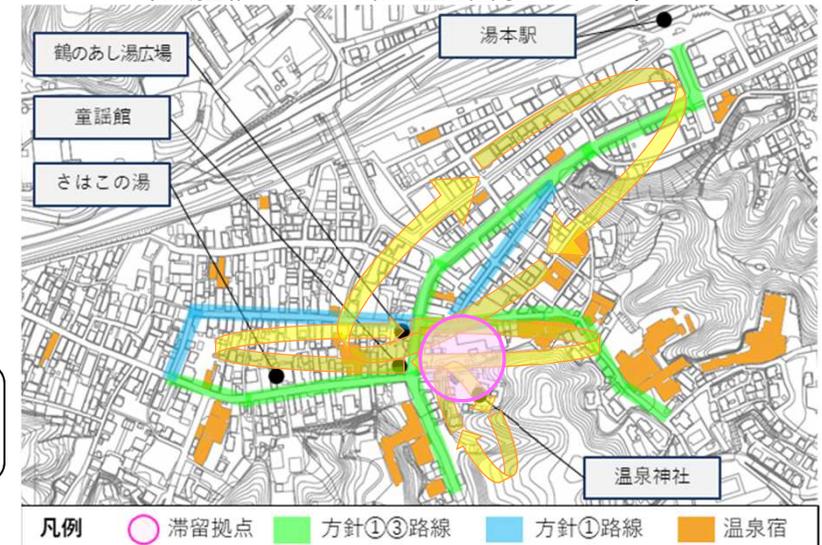


図 道路景観整備の候補エリア



写真 三函地区の沿道風景



方針5-①、③（①道路景観の整備 ③安全な歩行者空間づくり）



※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

● 取組みのイメージ

- 温泉街として、情緒ある雰囲気となるよう、路面を石畳風舗装に整備
- 電線類の地中化を図り、電柱や電線の無い、美しい道路景観を形成するとともに、歩道の確保により安全な歩行者空間を整備



● 想定される主体

- 民：沿道景観の形成（※方針5-②参照）
- 県：県道における道路整備
- 市：市道における道路整備



● 検討のポイント

- 具体的にどこを整備するのが効果的か
- 温泉街に望ましい道路のデザインとは、どのようなものか
- 歩行者空間の確保に向けた、車両通行ルールの検討（市道三函・吹谷線）





方針5-② 夜間景観づくり

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

● 目的

- 観光地「いわき湯本温泉郷」として、魅力を感じる沿道空間をつくることで、住民にとって暮らしやすく、観光客にとっても魅力的な温泉街を目指す。

● 場所 (候補地)

- 滞留拠点を中心とした、周辺の県道及び市道部
 (主要地方道いわき石川、常磐勿来、市道三函・吹谷、三函6号、三函8号、吹谷2号 など)
 ※方針5-①とセットで実施することを想定

● 効果

- 回遊性の向上 ➤ 観光客の増加
- 安全性の向上 ➤ 温泉街の魅力向上

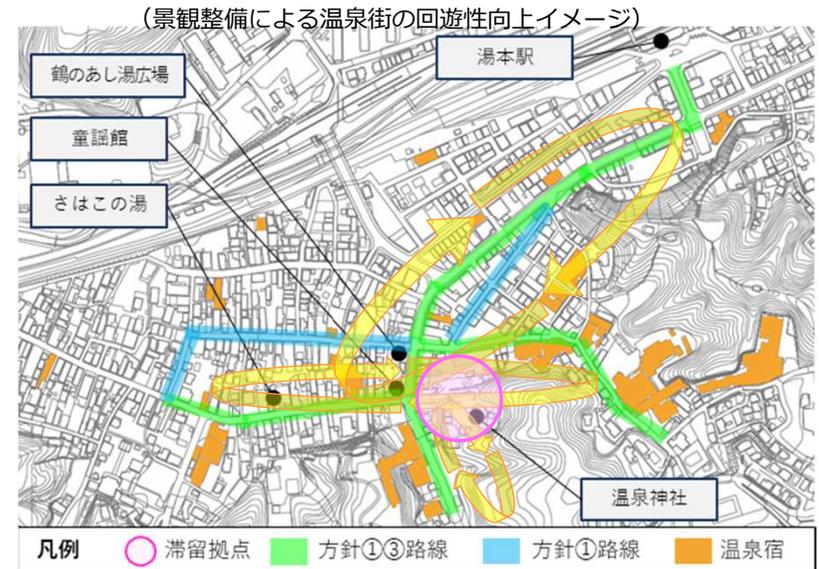
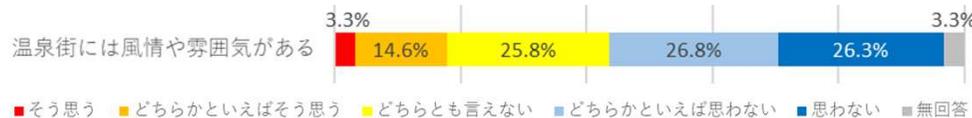
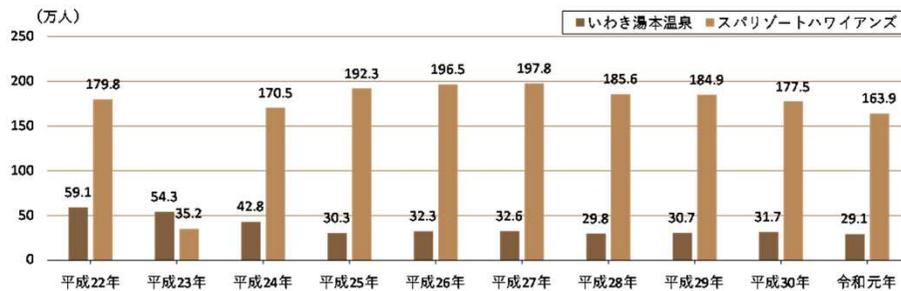


図 夜間景観整備の候補エリア



グラフ 温泉街の印象 (令和2年度住民アンケート結果)



グラフ 常磐地区の主な施設の観光入込客数の推移



写真 三函、吹谷地区の沿道風景



方針5-② 夜間景観づくり

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

取組みのイメージ

- 官民協働により、沿道景観をつくるためのガイドラインを策定
- ガイドラインに基づき、道路、旅館、店舗、住居などに、行燈等の「灯り」を設置し、魅力ある温泉街を演出



想定される主体

- 民：沿道景観づくりの実施
ガイドラインの策定
- 市：ガイドラインの策定
沿道景観づくりへの支援



検討のポイント

- 具体的にどこを整備するのが効果的か
- 沿道景観ガイドラインの策定に向けた合意形成



写真 夜間景観のイメージ

方針5-④まち歩き促進

※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

● 目的

- 観光地「いわき湯本温泉郷」として、まち歩きを促進する環境を整備し、駅周辺や温泉街への新たな来訪機会の創出を目指す。

● 場所（候補地）

- 湯本駅から温泉街までの区域

● 効果

- 回遊性の向上 ➤ 観光客の増加
- 安全性の向上 ➤ 温泉街の魅力向上

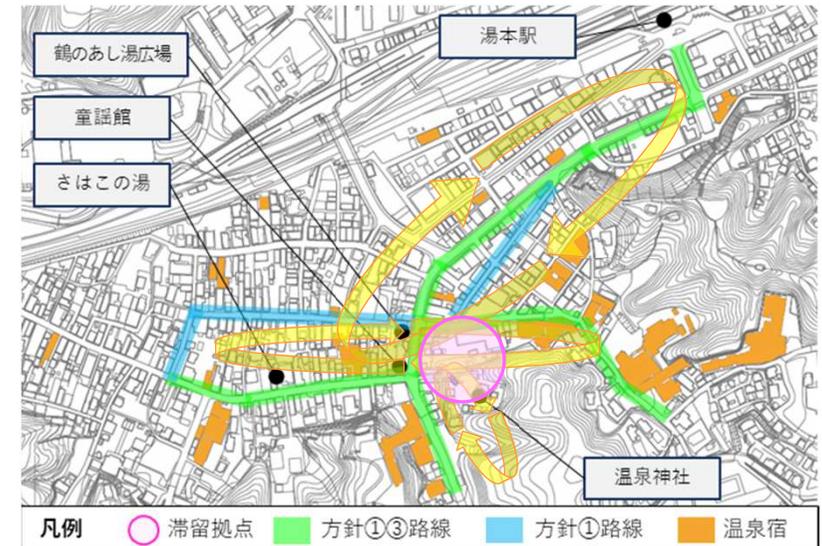
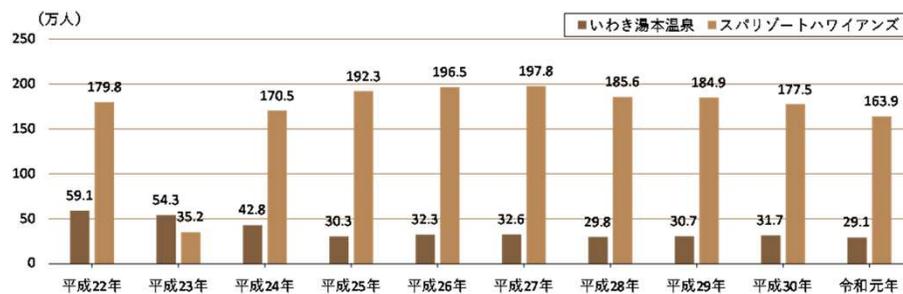


図 湯本駅と温泉街の回遊イメージ



グラフ 温泉街の印象（令和2年度住民アンケート結果）



グラフ 常磐地区の主な施設の観光入込客数の推移



写真 三函谷地区の沿道風景



方針5-④まち歩き促進



※ 本資料はワーキングで意見交換するための「たたき台(イメージ)」です。
 ※ 取扱には注意してください(無断提供・転載禁止)

取組みのイメージ

- 地域資源や魅力ある店舗などが確認できる案内板や誘導標識をエリア内に設置し、歩きやすい環境を整備
- スマートフォンなどの通信機器からも“いわき湯本温泉郷”の情報が取得できるよう、SNS媒体を活用した情報発信

想定される主体

- 民：案内板や標識の設置
SNS等からの情報発信
- 市：案内板や標識の設置

検討のポイント

- 案内板や誘導標識は、どこを設置するのが効果的か
- SNS媒体の情報発信など、広報をどのように行うのが効果的か



写真 案内板等のイメージ



写真 情報発信のイメージ